

福祉サービス等第三者評価結果

総括コメント

受診施設名	Hana花 保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会

平成19年7月20日

評価が高かった点	<ul style="list-style-type: none"> ①三室戸保育園との交流 ②毎月数回開催される喫茶コーナー ③パソコンを用いた保育園の情報管理 ④月間指導計画（月案）の掲示、開示
理由	<ul style="list-style-type: none"> ①3～5歳は三室戸保育園へ行きます。ビル内環境から抜け出して、子どもが自発的に遊べる環境を作り出す取組みは素晴らしいです。 ②喫茶コーナーは、利用者が落ち着ける場所です。とても自然に保護者同士、又は保育園とコミュニケーションをとることが出来ます。 ③パソコンを使用した保育園の諸情報の管理は、業務の効率化を図る上ではとても重要です。 ④保育を色々な視点から計画し、保護者と共有することができ、保育者・保護者の互いの気づきを促します。また、保育者と保護者が同じ視点（レベル）に立つことができます。とても多くの利点があり、保育園（保育者）と保護者が一体となり、子どもを保育する環境が築かれています。
改善努力を要する点	<ul style="list-style-type: none"> ①パソコンを用いた保育園の情報管理 ②食事関連 ③パート職員・給食従事者との連携
理由	<ul style="list-style-type: none"> ①パソコンを使用した保育園の諸情報の管理は、非常に便利な反面、それを扱う側の技量が問われます。システムの取扱いについての向上を望みます。また、書類の改ざん等が防止できるファイル形式で保存・縦覧されることを望みます。 ②食事を保育の柱と位置づけ、給食に関する努力と工夫が見られますが、給食の温度や量など、さらに細やかな配慮を望みます。 ③正規職員と比較して、パート職員と給食従事者の方への情報伝達やミーティングの持ち方が不十分です。更なる情報周知の仕組み作りに工夫をお願いします。
総括コメント	<p>園長先生を始め、各職員の保育内容の見直し、気づき、資質向上を目指す意欲の高さを感じます。職員のみなさんが明るく元気で、保育園の雰囲気の良いが伺えます。パソコンを用いた保育園の情報管理システムは、使いこなすことが出来れば、単に効率化だけではなく、そこから何を見出すかという、より高次元での活用を期待します。園内は、ビル内部にありながらも多くの工夫が凝らされ、木のぬくもりとナチュラルな感じ、静かな空間が印象的です。フリースペース、コーナー遊び等、子どもたちの遊び込む姿を大切にしようとして努力工夫することの先には、きっと改善と充実と発展があることでしょう。これからの発展が大いに期待できる、とっても楽しい保育園です。</p>

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】 【付加基準】

評価結果対比シート

受診施設名	Hana花保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	2007年3月28日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
理念・基本方針	I-1-1 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-2 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (事業計画についてのみ評価)	C	C
	I-2-2 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (事業計画についてのみ評価)	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

・理念と基本方針は、「わたしのほいくえんの本」に分りやすく書かれており、全ての利用者へ配布されています。その本の中には、いのちを大切にするという理念、保育園の目指す方向性や考え方を読み取ることができます。5つある保育目標についても、具体的に記述されており、非常に理解し易いものとなっています。

・理念や方針について、正規職員へは朝の会議等で説明があり、また今回の面談を通じても周知されています。また、利用者同様、自治会等への資料配布など、少しずつ取り組まれてはいかがでしょうか。

・事業計画は、保育所の理念を実践するための計画であり、内容には具体性が必要です。地域特性を考慮し、可能な限り目標を数値化すれば、計画の進み具合が把握でき、見直しや再検討も容易になるでしょう。

・事業計画を作成するにあたり、職員の意見も考慮されると、実施上の全体のまとまりや団結がより深まるでしょう。そして、分かりやすい資料等を作成して配布する等、保護者の方々の理解も得られると、より大きなものになると思います。

・総園長が全ての責任を持ち、その下で園長、主任等の管理者の方々が職務について責任を持ち、十分なリーダーシップを発揮されていることは、理解できます。しかし、園長を始めとする各職員の役割等を明らかにするものがありませんでした。職員会等の会議で、各職員が意見を非常に述べやすい雰囲気であることはとても良く評価できます。

・業務の効率化を目的にパソコンの積極的な利用を推進しており、三室戸保育園との情報交換・情報共有のシステムはかなり特徴的なものです。

活用方法について、定期的に見直し検討されるとより素晴らしいシステムが構築されるでしょう。

・保育園が果たすべき役割は年々増加し、また遵守すべき法令は雇用労働に関する法令のみならず、数多くあります。これらの内容をリスト化し、職員の勉強会等に取り入れると組織としてのまとまりがもっと強まるでしょう。

II 組織の運営管理

【共通評価基準 評価結果対比シート】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	B	

[自由記述欄]

・総園長が積極的に研修や園長会等に参加しており、また、定期的に民生児童委員と話し合い、社会福祉事業の動向、保育園を取り巻く環境の把握、意見交流や情報収集がなされており、環境の変化に十分対応しています。

・勤務表や人員体制から保育の質を高めながら効率化を図る努力と工夫が伺えます。就業状況も職員一人ひとりに配慮されています。また、「わたしのほいくえんの本」からは保育の質を高めるための日頃の活動内容が分ります。

・管理職も積極的に職員に対して話しかける等、職員間のコミュニケーションは良く取れています。また職員の意見を取り入れ、相談しやすい環境も整えられています。

・人事考課については、意図的に実施していない。

・職員研修のレポートがよく整理されており、パソコンでいつでも職員が見ることができる環境が整えられています。

・研修計画を具体的に確立され、研修に対する基本姿勢を明確にされると、より高いレベルでの職員の質の向上につながるでしょう。カウンセリングについては、総園長を筆頭に職員一同で力を注いでいます。

・実習生の受入れを定期的に行い、受入れの意義と方針のマニュアルを作成、明文化しており、職員間で意識の統一が図られています。実習プログラムや個別の実習生に対する実習計画があれば、実習がより効果的に行われるでしょう。

・子どもの安全について、園内会議でよく検討され、パソコンにて各マニュアルや事故記録情報が得られる連絡体制が確保されています。

・子育て相談、特別保育体験事業、のんびりくらぶ等があり、中高生の保育体験やボランティアを定期的に受入れています。

・宇治市民生児童委員との懇談も行われるなど、地域に開かれた保育園です。保育園の努力を十分に感じ取ることが出来ます。ビルの1階と3階に宇治市の子育て支援機関があり、これら機関と協力して、地域の関係機関や団体とのネットワーク化に取り組み、協働して具体的な取り組みを行うことができるよう期待します。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

【共通評価基準 評価結果対比シート】

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	C
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	C	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	B	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B	B	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

【自由記述欄】

個人情報保護マニュアルがあり、「わたしのほいくえんの本」にも記載があり、個人情報を守る姿勢が伺えます。
 ・利用者に配慮し、行事毎にアンケート調査を行い、また週3回喫茶コーナーを設け、保護者と話す機会を設ける等、保育サービスの質の向上へ向けての独自の取り組みは評価できます。
 ・保護者が相談や意見を述べやすい体制が確保されていると判断します。苦情解決体制に必要な第三者委員も設けられています。苦情・意見の受付担当者、解決責任者を明示し(第三者委員を含めて)、どのように取り扱われるのかを示すマニュアルを整備し、その仕組みが広く周知される取り組みがされています。
 ・殺風景になりがちな館内部の室内を柔らかく優しい雰囲気になるような工夫が随所に見られます。サービスの標準的な実施にあたり、概ね職員間での意識と情報の共有化も図られています。職員によって書かれるエピソード記術により高レベルでの保育の質の向上に取り組んでいます。
 ・今回の第三者評価受診以外で、自己評価等の取り組みは行われていないとのことでしたが、この受診を機に質の向上するためのサービスの定期的な見直し、検証を行う取り組みがなされ、また、職員や保護者からの意見や提案が反映されるような仕組みであれば更によいでしょう。
 ・パソコンで様々な情報を記録する管理体制が整えられています。こまめに会議を開催し、またパソコンを利用しての伝達システムで情報の共有化もおおむね出来ています。多くのデータが書き換え可能な形で保存されていますので、PDF等のファイル形式で保存されるとよいでしょう。また、最近制定された「e-文書法」も参考にされると良いでしょう。
 ・「わたしのほいくえんの本」にサービス内容が詳しく記載されています。この本は、三室戸保育園と共通のものなので、Hana花保育園に特有の部分(別プリントで作成されるなど)明確にされてはいかがでしょうか。
 ・パソコンで諸情報を管理することで、利用者が個別にアセスメントされており、サービス実施計画も月末までに評価見直しを行っています。

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	B
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

・保育計画と保育方針に基づく5つの保育目標(①人間や社会を愛する力を育む②自分で好きな遊びを見つけ、遊びを満喫する力を育む③基本的な生活習慣の涵養④なかよく生活する力を育む⑤ありがたの心を育む)に向かって、十分に保育を実施しています。利用者へのアンケート調査を行い、利用者の意向を聞き取る工夫がされています。駅前のため地域の実態を非常に把握しにくいとのことですが、その中でも少しでも把握に努め地域特性に応じた事業展開が望まれます。

・園内会議、指導計画も記録されています。クラス会議で評価見直しも行われています。

・発熱や感染症に関するマニュアルがあり、ある程度の周知がなされています。突然死について、バイタルチェックを5～10分毎にしています。

・健康に関して、園医のアドバイスを反映したプリント等で保護者に諸情報を提供し、園医との連携連絡は十分であると判断します。また、職員間の伝達連携は、パソコンでの情報管理が整備されています。情報管理については取扱う側(職員)への徹底が難しい部分ですので、配慮願います。

・ランチルームの食事を基本とし、子どもの食生活を充実させるため、朝食の援助を行うなど、保護者の要望に応える配慮が見られます。また、食事を保育の柱と位置づけ、献立内容、調理方法など高評価に繋がる部分が多くありました。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	B
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

・各クラスに(段差のところを含めて)マットが敷いてありました。ケガの防止に繋がりますし、子どもが落ち着き、心地よく過ごせる部分です。
 ・今年からランチルームを「フリースペース」と名づけ、多目的に使用する新しい試みが見られます。空気清浄殺菌機が設置されています。湿度温度計も各部屋に設置されています。
 ・園内は全体的によく清掃されています。また、エタノールと空気清浄殺菌機で消毒されています。
 ・室内はよく整理整頓されています。そのため、保育者が子どもに目配りしやすい配置となるように工夫されています。装飾は比較的簡素で、キャラクターものを一切用いず、床や壁は木のぬくもりを重要視した作りです。
 ・調査当日、登降園の出入り口からよく見える位置でオムツ交換がされていました。部屋の作り上、他の園児を見渡せる場所ですが、様々な人から見える場所ですので配慮が必要です。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	B
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	

【自由記述欄】

・保護者との情報交換は、月2~3回喫茶コーナーを設け、園と保護者、保護者と保護者が自然に触合う機会を設けています。懇談も実施されています。また、パソコンに記録され、職員間で情報を共有する環境も整えられています。
 ・園のしおりに虐待の照会先や通告にあたっての連絡先が明記されています。子どもの身体の様子に変化がある場合は、記録しています。
 ・一時保育は一人ひとりに考慮し、十分に配慮され、通常保育と関連づけられていると判断しますが、マニュアルや日誌があれば尚良いでしょう。